

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あくせる			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日 ～ 令和7年 4月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援(課題)への取り組みを習慣化していること	利用者様一人一人に、保護者様のニーズ及び利用者様の出来る事、難しい事に応じた課題(プログラム)を設定し、日々実施している	様々な利用者様に適用できるように課題内容の幅を広げていく
2	身体を動かすことや新しい経験を提供できること	トランポリンやボルダリングなどの運動を日々取り組んでおり、利用者様の能力向上及びリフレッシュに繋げている。また、土日祝も営業していることから外出をする機会も多く、色々な経験が出来るようにしている	利用者様の能力向上に継続して取り組むとともに、さらなる気づきに繋がるように様々なアプローチ方法で取り組んでいく
3	様々な取り組み(レクリエーション)を実施していること	日々異なるレクリエーションを実施し、利用者様の興味関心を深めるとともに保護者様にお子様の新しい姿を伝える	保護者様のニーズを確認し、利用者様に楽しんで頂くとともに支援に繋がれるように取り組んでいく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の情報を詳しく保護者様に伝達しきれていないこと	施設として取り組みを実施していないこと(第三者評価の実施など)もあるが、実施していることも周知しきれていないことがある	見学や契約、カンファレンスなどを通して、保護者様に伝達するとともにHPやSNSを活用し情報の周知を進めていく
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとの交流が少ないこと	近隣の地域機関との連携が少なく、交流する機会が持ててないこと	近隣の小学校などを連携を図り、地域の子どもと交流する機会を設けていく
3			